

## ベナン月報(2016年4月)

### 主な出来事

#### 【内政】

- 6日, タロン新大統領の就任式がポルト・ノヴォ市シャルル・ド・ゴール競技場で開催された。また, 同日第一次タロン内閣の組閣が行われ, 21名の大臣が入閣した。

#### 【外政】

- 6日, 日本の安倍晋三総理大臣は奥野衆議院議員を総理特使として派遣, 同議員が率いる日本の代表団がタロン新大統領の就任式に出席した。
- 8日, アブジャでドウ・スザ元開発大臣が正式に ECOWAS 委員長に就任した。
- 18日, タロン大統領とヤイ前大統領はアビジャンにおいてウワタラ・コートジボワール大統領及びニヤシンベ・トーゴ大統領と会談, 3か国間の協力関係について話し合った

#### 【経済】

- 3月29日に行われた閣議後のコミュニケによると, ベナン政府負債残高はヤイ大統領時代に4.4%から10年間で3.9%に減少, 一方で貿易赤字は2005年の151.7%から2015年には421%と, 約3倍に増加したとしている。

※下記内容は, La Nation 紙, Le Matinal 紙, L'Événement Précis 紙, La Nouvelle Tribune 紙および, Le Matin Libre 紙の記事を元に記載したものです。

#### 【内政】

- ・ 31日, ポルト・ノヴォ地裁はベナン政府に対し, 新国会議事堂の建設を行っていた業者 EMCR・GIE 社へ280億 FCFA の支払いを命じる決定を下した。同業者は新国会議事堂の建設を受注, ベナン政府からの支払いの遅れにもかかわらず建設を継続していたが, ベナン政府より突然の契約解除を受けていた。(1日, Le Matinal 紙)
- ・ 6日朝, ヤイ大統領からタロン新大統領への引き継ぎが大統領府において10数分間行われた。続いてタロン新大統領の就任式がポルト・ノヴォ市シャルル・ド・ゴール競技場で開催され, 政府関係者や各国の外交団などに加え, 一般の国民も参加した。(7日, La Nation 紙)
- ・ 6日, 第一次タロン内閣の組閣が行われ, 21名の大臣が入閣, エドゥアル・ウアン・ウロ氏 (M.Edouard Ouin OURO) が政府官房長官に就任した。また, 7日には各省庁において引継式が行われた。(7日・8日, La Nation 紙)
- ・ 12日, 2016年第1回通常国会が開会し, ウンベジ(M.Adrien HOUNGBEDJI)国民議会議長より国民議会としてタロン新大統領の改革に協力していく旨宣言された。(13日, La Nation 紙)
- ・ 13日, タロン内閣最初の閣議が行われ, 政治改革委員会の設置などを含む15の事項が決定された。その中には, 2015年1月以降に実施された公務員試験の透明性の検証に伴う採用手続きの停止も含まれており, 同期間中に採用された公務員からは不安の声が上がっている。(14日, Le Matin Libre 紙)

- ・ 19日、ソグロ(M.Lhéady SOGLO)コトヌ市長は、世銀などの支援で実施されているゴミ集積場の整備プロジェクトの視察を行った。コトヌ市15カ所あるゴミ集積場のうち、13カ所が整備される予定。(21日、Le Matinal 紙)
- ・ 26日、国民議会で水俣条約を含む8つの条約の批准が承認された。(27日、L'Événement Précis 紙)
- ・ 28日、閣議で、ヤイ政権時代に発出された大統領顧問などのポスト設置に関する政令や、政府高官ポストの任期の無期限化に関する政令の廃止が決定された。また、公務員採用試験委員会の設置、綿花職業人協会(AIC)の復権等が決定された。(29日、Le Matin Libre 紙)

#### 【治安】

- ・ 1日、コトヌ自治港の税関に最新型のX線検査装置が2台導入された。費用は約32億FCFA。同様の装置はすでにコトヌ市カジェウン国際空港においても2台導入されており、パラク市トゥル国際空港にも1台導入される予定。(4日、La Nation 紙)
- ・ 雨期の到来に向けて、度重なる洪水被害を避けるため、コトヌ市各地で排水溝の清掃が実施されている。(21日、La Nation 紙)
- ・ タンゲタ市の山中を走る国道で通行車両を狙った武装強盗が多発しており、夜7時以降は一般車両が通行を避ける状態が続いている。(8日、Le Matin Libre 紙)
- ・ バイクタクシー税の増税に反発した運転手がポルト・ノヴォ市役所に集まり抗議を行った。現在バイクタクシー運転手は年間3,600FCFAを支払うことが定められているが、ウェメ・プラトー県は年間8,000FCFAへの増税を計画している。(25日、La Nation 紙)
- ・ 2015年以降ボルグ県で誘拐による被害が増加している。ある例では、「子供を誘拐した。返してほしければ1,000万FCFAを支払え。」などという電話を受けた親が警察に通報したが、その後子供は死体で発見された。要求される身代金は100~2000万FCFAとなっており、警察は注意を呼びかけている。(26日、La Nation 紙)
- ・ 24日、コトヌ市アツパツパ・ドドメ地区及びエナニオン地区の海岸で、家や食堂がある場所まで波が浸食し、多くの住民が被害を受けた。海岸の浸食は年間10mに達するとも言われており、大きな問題となっている。(26日、Le Matinal 紙)
- ・ 25日、ドボ市及びロコサ市で水道網の不具合による断水が約2ヶ月間続いていることに怒った住民がデモを実施、タイヤを燃やすなどして抗議を行った。(26日、La Nation 紙)
- ・ 28日、ベナン政府は、検問所の警察官による賄賂問題対策として、一部を除く幹線道路の検問所を廃止することを決定した。(5月2日、La Nation 紙)

#### 【外政】

- ・ 6日、日本の安倍晋三総理大臣は奥野衆議院議員を総理特使として派遣、同議員が率いる日本の代表団がタロン新大統領の就任式に出席した。(7日、La Nation 紙)

- ・ 8日、アブジャでドウ・スザ(M. Marcel DE SOUZA) 元開発大臣が正式に ECOWAS 委員長に就任した。(11日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 18日、タロン大統領とヤイ前大統領はアビジャンにおいてウワタラ・コートジボワール大統領及びニヤシンベ・トーゴ大統領と会談, 3か国間の協力関係について話し合った。(19日, La Nation 紙)
- ・ 21日中国最高人民法院の代表団がベナン最高裁判所を表敬し, 両国の司法分野における協力関係について話し合った。近くベナン最高裁判所代表団が中国を訪問することが予定されている。(21日, La Nation 紙)
- ・ 26日、タロン大統領はパリを訪れ, オランド仏大統領と会談を行った。両国首脳は開発・環境・安全保障などの分野でより一層の協力を行っていくとした。(27日, La Nation 紙)
- ・ 29日、ディアオ(M.Mihgsheng DIAO)駐ベナン中国大使はベナン政府に対し, 約8億 FCFA相当のコンピュータ, プリンタ, スキャナなどの事務用品の引き渡しを行った。ベナン政府側からはアベノンシ(M.Aurélien AGBENONCI)外務・協力大臣が出席した。(5月2日, Le Matinal 紙)

#### 【経済】

- ・ 3月29日に行われた閣議後のコミュニケによると, ベナン政府負債残高はヤイ大統領時代に4.4%から10年間で3.9%に減少, 一方で貿易赤字は2005年の151.7%から2015年には421%と, 約3倍に増加したとしている。(4日, Le Matinal 紙)
- ・ 7日, サウジアラビアのジッダで, イスラム開発銀行とダンババ(M. Mouhaman Dahirou DAMBABA)駐サウジアラビア・ベナン特命全権大使は, 2億1600万米ドルの援助協定(高等教育及びマイクロクレジット分野)に署名した。これまでにイスラム開発銀行がベナンに対し行った支援は8億2400万米ドルに上る。(11日, Le Matin Libre 紙)